



(左) スムーズ横断歩道
(上) 路面標示
(下) ハンプ

知多半島初のゾーン 30 プラス

30km/h 速度制限と物理的デバイスにより生活道路の交通安全の向上を図る区域「ゾーン 30 プラス」が令和 3 年 8 月に創設され、全国で整備が進められています（令和 5 年 3 月末時点で 122 地区）。今回は中部地方の整備事例として愛知県大府市北山地区のゾーン 30 プラスを紹介します。整備前の同地区は通過交通が多く、歩行者の安全確保が必要な状況でした。そこで、知多半島初のゾーン 30 プラスとして整備され、令和 5 年 9 月 8 日より運用が開始されました。大府市立北山小学校東側に隣接する生活道路にスムーズ横断歩道と狭さく（2 箇所）、南側のゾーン入口にハンプが設置されました。さて、豊田高専都市交通研究室は同地区において、整備前後に交通実態調査、整備後に住民へのアンケート調査を実施しています。これらの結果については、本学会において報告できればと考えています。

【所属機関・連絡先】

豊田工業高等専門学校 環境都市工学科 山岡俊一

Tel : 0565-36-5880 E-mail : yamaoka@toyota-ct.ac.jp